



港南小学校だより

2月号

二十四節季・七十二候

<2月の二十四節季>

・2月3日 立春
春の気始めて立つ

・2月18日 雨水
氷雪解け雨水温む

<2月の七十二候>

・東風解冻
はるかぜこおりをとく
→東風が厚い氷を解かし始める

・黄鶯睨皖
うぐいすなく
→鶯が山里で鳴き始める

・魚上氷
うおこおりをのぼる
→割れた氷の間から魚が飛び出る

・土脉潤起
つちのしょううるおいおこる
→雨が降って土が湿り気を含む

・霞始靄
かすみはじめてたなびく
→霞がたなびき始める

・草木萌動
そうもくめばえいずる
→草木が芽吹き始める

相手を思いやる行動

校長 船木 亮作

三学期が始まり一か月が過ぎました。今年の冬の寒さは例年以上に厳しく、換気をしながら授業を行うなど、大変な状況にあります。また、引き続き緊急事態宣言が続く中ですが、私たちはできることを粛々と行っていくしかありません。ぜひ、今後も検温やマスクの着用など自分だけでなく周りの健康も守れるようにご協力ください。また、残念ながらいくつかの学年の校外学習を中止せざるを得ませんでした。さらに、最後の学校公開も中止となってしまいました。皆様のご理解とご協力に感謝いたします。

さて、始業式に子供たちに「相手を思いやる行動」(江戸しぐさ)についての話をしました。江戸しぐさについては、色々な論争がありますが、その行動自体には学ぶべき視点があると考えます。

雨の日、傘を差している人同士が狭い通りですれ違うとき、どうしたらよいでしょうか。そのまま進んでいくと、傘と傘がぶつかってしまい、ケンカになってしまいかもしれません。ですから、そういう時は、お互いに少しずつ傘を相手のいないほうに傾けてすれ違うのです。そうすれば、スムーズにすれ違うことができます。これを「傘かしげ」と言います。

また、電車などで席がいっぱいで、立っている人がいるとき、座っている人全員がこぶし一つずつ腰を浮かせて横にずれます。そうすると、一人分の席を空けることができます。これを「こぶし腰うかせ」と言います。

江戸時代、当時の江戸は二〇〇万人もの人が住んでいて、ヨーロッパのロンドンなどよりも人口が多い世界一の大都市でした。人口の多い街で、人々が仲良く暮らしていくために

は、お互いのことを思いやる必要があったのです。つまり、大勢の住む街の人々が上手に暮らしていくための「生活の知恵」でした。

まさしくこのことは本校のモデルとなる行為です。ご承知のように本校は東京で一番児童数の多い小学校となりました。一人一人がこの「マナー」を実践していくことで、仲良く学校生活を送っていくことができるのではないのでしょうか。

また、中国古典の「論語」にもこんな一節があります。

「仁者は必ず勇あり」

深い思いやりの心の持ち主には、必ず勇気が備わっていて、誰かのことを思い、率先して行動が起こせる人こそ、本当の「勇気ある人」と言えます。よりよい人生を築きたいと願うなら、周囲の人たちや社会も一緒にいくなつていく必要があります。自分自身が発信源となり、周囲の人たちに対する思いやりの心を表していきたいものです。それは、必ずしも難しいことをしなければならぬわけではありません。まずは、身近な人に安心してもらえらるようなことを、相手の立場になって考え、少しの勇気を出して、実践していくことです。日常のちよつとした場面での思いやりの実践は、少し意識することです。いつても、どこでも、誰にでもできることです。

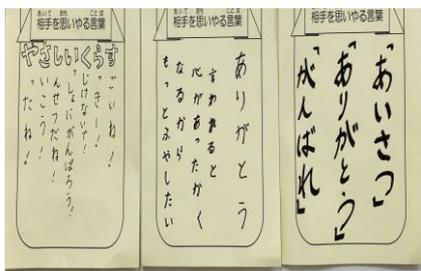
思いやりの心は、意識してはたらかせるほど大きくなり、少しの勇気を出して実践していくことを積み重ねていったならば、学校全体がより良いものになっていくのではないのでしょうか。

ぜひ、本校の子供たちもその実践者となつてくれることを願っています。

言葉遣いについて考えよう

二月はふれあい月間です。一年間の自分の言動を振り返り、今後自分が心掛けていくことを確認・実践します。「相手を思いやる言葉」「自分が言われてうれしい言葉」を生活の中で進んで使おうとする態度を育みます。これら いじめを未然に防ぐ本校の取組の一つです。

各学級で使ってきた言葉を決めて一階玄関前で掲示したり、全校朝会で話題に挙げたりして、児童への啓発を図っています。



ご家庭や地域でも思いやりの言動が見られたら、大人が大いに褒め、次につながるよう共に子供たちを育てていきましよう。

(生活指導主幹 小清水孝)



東京都港区港南4-3-28
TEL 3474-1501・FAX3474-1500

3月の主な行事予定

- 1日(月) 土曜時程
5時間授業
- 2日(火) セーフティタイム、委員会活動
- 3日(水) 感謝の会(6年)
6年生以外は4時間授業
- 6日(土) 土曜授業日
- 8日(月) クラブ活動
- 9日(火) 保護者会(1・2年) 15:00~
- 22日(月) 卒業式予行(6年)
- 23日(火) 給食終
- 24日(水) 卒業式(1~5年休業日)
- 25日(水) 修了式、土曜時程
- 26日(木) 春季休業日始
- 28日(土) ふれあいクリーン作戦
海外派遣(6年)【沖縄】

副校長より

「**凡事徹底**」
 新型コロナウイルス感染症拡大により第一波が押し寄せ、緊急事態宣言が先月に発令されました。昨年の緊急事態宣言の時は、学校も休校となりました。今回の緊急事態宣言では、社会全体でも新型コロナウイルス感染症に慣れて、緊張感が薄れているとの批判も出ています。港南小の児童も少なからず緊張感が薄れてきているのではないかと感じることがあります。このような状況下だからこそ、感染症対策の基本であるマスクの着用や手洗い、ソールシャールディスタンスといったことを徹底して行うことが当たり前

にできること、「凡事徹底」が求められるのではないかと思います。子供たちは、小学校生活の六年間でたくさんのお友達のことを学び、たくさんのお友達や地域の人たちと関わりをもって成長していきます。来月に卒業式を迎えるこの時期になると、六年生には当たり前前の事を当たり前前にできるように頑張って立ってほしいと願っています。



(副校長) 久道 泰司
原島 謙二

日	月	内容
1日	月	お昼の放送、セーフティタイム
2日	火	
3日	水	土曜時程 清掃無し・5時間授業【13:50頃下校】
4日	木	
5日	金	
6日	土	土曜授業日
7日	日	
8日	月	主権者教育(6年)、委員会活動 お昼の放送
9日	火	
10日	水	土曜時程 清掃無し・5時間授業【13:50頃下校】
11日	木	建国記念の日
12日	金	保護者会(6年)15:00~
13日	土	
14日	日	
15日	月	お昼の放送、クラブ活動
16日	火	新1年生保護者会、1年生給食あり 1年生のみ下校時間変更【12:50頃下校】
17日	水	土曜時程 清掃無し・5時間授業【13:50頃下校】
18日	木	港南幼稚園学校体験
19日	金	
20日	土	土曜授業日 卒業・進級を祝う会(わかば)10:15~
21日	日	
22日	月	お昼の放送
23日	火	天皇誕生日
24日	水	基礎なし、4時間授業【12:45頃下校】
25日	木	
26日	金	感謝の会 6年生のみ下校時刻変更【15:30頃下校】
27日	土	
28日	日	

※この他に、避難訓練(予告なし)があります。
 ※緊急事態宣言が続く場合、変更する可能性があります。

	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数(人)	30	227	224	221	235	214	199	1350

(1月31日時点)

五年生より

今年度の五年生は学年目標を「挑戦・共感・前進」下級生のお手本になろう」として一・二学期を過ごしてきました。子供たちにどんな五年生になりたいかをアンケートすると、「下級生」や「お手本」というキーワードがたくさん出てきました。学習面でも生活面でも手本になれるように、諦めずに挑戦すること、挑戦する友達を応援できること、自分と違った見方や考え方の友達にも共感しようとする意識をもつことなどを通して、最高学年に一步一步前進することを目標としました。

それぞれの学年で、体育的行事と文化的行事の代替え行事を行っています。五年生は、長縄大会とドッジボール大会、百人一首大会を行いました。学級対抗にすることで、意欲も高まると同時に苦手意識があったことにも挑戦する姿がたくさん見られました。また、より多くの友達と関わる様子から改めて行事のよさを担任一同再確認することもできました。

日々の学校生活の中で特に五年生のよい所は、何事にも前向きで責任をもって取り組めることです。例年通りにはいかないことの多い毎日ですが、委員会やクラブ活動でも積極的に意見を出したり、活動したりできています。

三学期は、行事や日々の学習、生活で高めてきた挑戦、共感の意識をさらに高めるために、枠にとらわれず、できることの中で楽しさを見出し、子供たちと教員が一体感をもって取り組んでいこうと思っています。

最高学年に向け、『前進』の三学期です。

(五年五組担任 坂口 千尋)

美化委員会

美化委員会では、学校がより綺麗になるように美化推進活動を行っています。今年度は下駄箱、ロッカーの綺麗な使い方をポスターで周知したり、きれいで賞を選出したりしました。また、クイズ付きのポスターの作成、掲示も行いました。廊下に掲示したポスターの前では、立ち止まって読み、答えの欄をめくる子供の姿が見られました。

残る三学期の活動では、主事さんにインタビューをしました。短い掃除時間でも、より校内を綺麗にしようという意識を高められたらと思います。

(美化委員会担当 渡邊 希恵子)

保健委員会

毎日、子供たちは感染症予防のため手洗いをしています。委員会の活動で手洗い実験を行い、きちんと手が洗えているか確かめました。実験の結果、指先、爪、指と指の間などに洗い残しがある子供がほとんどでした。子供は「よく洗ったつもりなのに！」と、意外と汚れが残っていることに驚いており、全校児童に向けた手洗いメッセージを熱心に書いていました。冬は水道の水が冷たく、丁寧な手洗いが億劫になる時期です。しかし、冬を元気に乗り切るために、「家庭でも改めて手洗いの大切さをお話していただければ幸いです。」

(保健委員会担当 西平 佳澄)

音楽専科より

今年度、音楽ではリズム学習やボディーパーカッションなどを積極的に授業に取り入れていきます。中でも子供に人気の学習が「ヒットザビート」という体を使ったリズム学習です。動画を見ながら音楽に合わせて、手拍子・膝打ち・足踏みを行います。最初はばらばらだったリズムがだんだんと合ってくるにつれ、学級の中に大きな一体感が生まれます。手拍子の音の慣らし方を考えたり、体の様々な場所を使って音を出したり、子供が工夫して表現を考えるようになりました。また友達の音を聴くことで「友達と音だけでなく、心もそろって嬉しかった」という児童の感想が聞かれました。今後も授業を通して児童の「心」を育んでいきたいと思っています。

(音楽専科 柿島 沙織)

保健室より

今年度は新型コロナウイルスの影響により、例年六月三十日までに実施している健康診断が、二学期以降に延期となりました。区の方針に基づき、学校医と連携しながら感染予防に留意して健康診断を実施しました。保健室内においても、密接、密集を避けるために児童の入場制限を行い、足型で立ち位置を示すことや、密閉を避けるために保健室内と廊下の換気を十分に行うことなどに取り組んできました。また、学校医については、グローブやフェイスマスク、ガウンの着用、手指の消毒を徹底して健診を実施していただきました。今後も、新型コロナウイルスの状況を確認しながら、感染防止のために行きたいと考えています。

(養護教諭 岡部 茂男)

鉄道・歴史研究クラブ

鉄道・歴史研究クラブでは、鉄道や歴史好きの仲間が集まって、和気あいあいと楽しく活動をしています。パソコンやiPad、図書室の本を使って、興味のある歴史や鉄道について調べ、新聞やポスター、イラスト、路線図などにまとめていきます。歴史小説を書いている六年生もいます。それぞれが好きなことをしているのでも、とても生き生きとしています。できたものを嬉しそうに見せ合っている時間もよい時間です。

また、活動の最初には、大河ドラマを観ています。人気投票の結果、今は「新撰組」をみんなど鑑賞しています。今年度も残り少ない活動時間となりましたが、またみんなで色々決めていながら、充実した時間となるようサポートしていきます。

(鉄道・歴史研究クラブ担当)

鷹宮 みのり



クラブ紹介

模型クラブ

模型クラブでは、個性豊かな仲間が集まって、車や戦艦、ロボットなど、様々なプラモデルの作成に取り組んでいます。学年の異なる先輩、後輩も互いにコツを教え合ったり、称賛し合ったりしながら活動しており、細かな作業に真剣に取り組む、生き生きとした表情が印象的です。自分の好きなことにとことん時間を掛け、丁寧に仕上げる経験は、子供たちにとって非常に豊かなものです。心を込めて作った作品が出来上がったときの満足げな表情に、見てい

るこちらも嬉しくなります。明るさや、皆を感動させる素晴らしい技術で活動を牽引した六年生に感謝の気持ちをもって、三学期も活動が益々充実するよう、尽力していきます。

(模型クラブ担当)

漆崎 綾乃



レクリエーションスポーツクラブ

レクリエーションスポーツクラブでは、六年生十四名、五年生五名、四年生十二名の計三十名で活動しています。体育の学習で学んだ運動や体育の学習ではできないような運動にも取り組んでいます。

今年度は、ドッジボールやドロケイ、三色鬼ごっこを行いました。どのスポーツも楽しみながら取り組むことができました。

毎月、子供たちで協力しながら行うスポーツを決めています。決めたスポーツを行う際には六年生が中心となり、学年の壁を越えて楽しくスポーツを行っています。

三学期も安全に気を付けながら楽しくスポーツを行えるように環境を整えていきます。

(レクリエーションスポーツクラブ担当)

中野 沙織



ヨガクラブ

ヨガクラブでは、ヨガに興味のある四年生、五年生の十五名が活動に取り組んでいます。体を動かすことが好き、体の柔軟性を高めたい、筋力アップしたいなど、様々な目的をもって活動しています。みんなで話し合い、それぞれの目的に合わせて活動内容を選んでいきます。

前期の活動では、担当教員が主導となって運動を取り組み、活動の後半では、五年生が中心となってみんなの意見を聞きながら一時間のクラブ活動の内容を考えていきます。

友達と動き方を確認し合ったり、自分の体に合った運動強度を選んだりして、ゆったり体を動かす楽しさを味わえるよう、活動内容を子供たちと一緒に考えていきます。

(ヨガクラブ担当)

並木 恵美子



ベースボールクラブ

ベースボールクラブでは、十五人の個性溢れた六年生が中心となって、場の準備から各ゲームのチーム決め、審判などを主体的に行い、みんな楽しく活動しています。

ハンドベースボールのゲーム中、ピッチャーを行っていた上学年の子供が、苦手な下学年の子供に、球が打ちやすいようにゆっくりとボールを投げあげてくれる姿が見られました。初めてヒットを打った時はチームみんな手を叩いて祝福するなど、クラブ活動を通じて学年を超えた輪が生まれている姿を見ることができました。

三学期、クラブの中心となって活躍してくれた六年生に感謝の気持ちをもって、より楽しく仲よく取り組めるようサポートしていきます。

(ベースボールクラブ担当)

久保田 智洋



映画クラブ

映画クラブでは、映画好きや映画に興味がある子供たちが集まって楽しく活動しています。前期の活動では、自分の好きな映画についてのポスターを作成して紹介し合ったり、お気に入りの映画を見たりしました。後期では、写真や動画を使ってムービーを作る活動を行いました。決められたテーマに沿って写真やフレーズをはめ込む活動を通して、ただ映画を見るだけでなく作成側になりきって話している姿が印象的でした。今後はYouTubeを活用して、自分で動画を撮影したり写真を集めたりしてオリジナルのムービーを作成していきたいと思っています。さらに他のクラブ

とコラボレーションなども行っていければと思います。

(映画クラブ担当)

飯山 稜太

